

6月28日

白山市東二口地内の崩落現場にもすぐに駆けつけました



7月27日

あいわ保育園の開園を関係者とともに祝いました



6月25日

白山白川郷ホワイトロード
開通記念式典に
出席しました

★★ 4つの重点施策 ～地域に尽くす政治～ ★★

地域防災対策について

白山市には石川県の守り神ともいえる霊峰白山があります。しかしながら、昨今の自然災害における対応のあり方が問われていると感じます。白山が今も活火山として位置づけられていることを踏まえ、噴火予知観測の徹底や避難場所の整備など、登山者や地域住民の方の防災対策を推進します。また、生活道路の整備などの交通環境も整えていきます。



白山ブランドの発信

新幹線の効果を白山市内全域に波及するための二次交通の整備や交流人口を増やすため、地域文化の特色を生かしたイベントやお祭りへの取り組みを支援します。魅力ある商店街をつくるため、それぞれの商店街の実情に即した効果的な活性化対策を官民一体となりサポートします。



子育て支援策・福祉体制の充実

小児科医の不足の解消や小児救急医療体制の拡充に取り組むほか、障がいのあるひとをはじめとした県民一人ひとりに応じたきめ細かい施策の充実を図ります。また、高齢者が住みなれた地域で暮らし続けるためにコミュニティの互助の力や行政・医療機関・施設等の環境整備を充実します。



地域の発展を支える産業として

農業を支える多様な担い手の育成により耕作放棄地の解消を図り、農村環境基盤の整備保全を行います。また、森林の公益的機能(地球温暖化の防止、自然環境の保全、水源のかん養、土砂の崩壊防止等)を十分に発揮させるために必要な施策を推進します。さらに、水産資源を育成するため河川等の整備を推し進めます。



縦

横山隆也通信

よこやま たかや

無

尽

力の限り県政に邁進します!



予算委員会での初質問の様子



石川県議会議員全員による記念撮影



ごあいさつ

謹啓

初秋の候、皆様には益々ご壮健のこととお慶び申し上げます。また、日頃より何かと格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。今、回、県議会議員として第二歩を踏み出すこととなり、その責任の重さに身を引き締まる思いです。地域防災や子育て支援、福祉などの充実に向けて邁進する所存です。さて、この度、活動報告「横山隆也通信」を発刊する運びとなりました。ぜひとも、皆様にご高覧いただきたくお送りいたします。今後とも何卒ご指導ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。末筆となりますが、皆様のご健勝とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

平成二十七年九月吉日

横山隆也 謹白

発行所

横山隆也事務所

〒920-2313 石川県白山市河内町久保い46



【縦横無尽】
じゅうおう・むじん

何事にもとらわれず、あらゆる方面で物事を思う存分にすること。また、そのさま。

横山隆也 公式ホームページ

<http://www.yokoyamatakaya.com/>

どんなことでも、
地域のために
尽くします。

石川県のたゆまぬ発展に一步



予算委員会で初質問に立ちました!



質問

地域の方々の声に耳を傾け
人口減少に実効性のある対策を

民間有識者などでつくる日本創成会議の報告では、2040年までに全国896の自治体が消滅する可能性を指摘している。県独自の人口減少対策などをまとめる「いしかわ創生総合戦略有識者会議」を発足させたと聞か、人口減少に直面している地域からの委員を増やすことを検討してはどうか。

答弁

委員には、地域の人口減少の実情を把握している方も就任している。各地域の代表者を委員に加える考えはないが、今後の戦略の策定については、県内の各市町と意見交換をし、地域の課題や実情を踏まえたものにしたい。

私の意見

地域に住んでいる方々は、人口の減少を切実な問題として受けとめていると思います。そのような方々の声にもっと耳を傾け、観光産業の振興といった実効性のある対策を、真剣に考えていかなければならないのではないのでしょうか。

質問

人格形成などの情操教育に向けて
子供のための全天候型施設の建設を

石川県は「子育てしやすい」と思っている人の割合が全国トップの92.4%に上る一方で、子供を遊ばせる施設が少ないという声をよく聞く。子供たちが学習、体験を通じて楽しめる全天候型施設の整備が急務と考えるが、今後の取り組みについてうかがう。

答弁

本県では、いしかわ子ども交流センターをはじめ、のとじま水族館や石川県ふれあい昆虫館などの施設の整備を進めてきた。子育てしやすい環境を整えるために子供向け施設の充実を図ることは大切であり、まずは、いしかわ子ども交流センターのソフト面の充実に向けた方策を研究したい。

私の意見

子供時代に体験したことは、子供の人格などの成長に大きな影響を及ぼします。情操教育という観点からも、子供たちが自然の中で学ぶことは多く、温もりを感じさせる木材を使った全天候型施設の建設をぜひ実現したいと考えています。

質問

子育て支援の地域間格差をなくし
さらなるサポートの充実に尽力

3歳未満の第1子を持つ保護者が育児休業に入った場合、その子供は退所しなければならないという市町があると聞く。行政自らが人口減少を招くような対応はいかかなものか。県としてこのような市町を指導していくべきだ。

答弁

県内17市町では、保護者が育児休業を取得した場合、保育所の継続利用を認めている。その他の2市町では、第1子が3歳以上の場合には継続利用を認め、3歳未満は特別な事情がある場合に限り利用を認めている。県としては保護者の育児に対する不安を解消するため、継続利用の必要性を市町に働きかけていきたい。

私の意見

子育て支援は、地域によって格差があってはならないと思います。質問したことによって、すべての市町で継続利用を認める方向に進んだことは、うれしい限りです。これからも子育て世代のサポートの充実に取り組んでいく所存です。

質問

石川県の発展に欠かせない
若い力をふるさとに呼び戻す

石川県出身の学生に対して、就職の際にふるさとへのUターンを促すには、県外大学との就職支援協定が欠かせない。石川県は他県に比べて大学との協定が少ないとの指摘があるが、増やすことを検討してはどうか。

答弁

首都圏等の大都市圏の大学と連携しており、今年1月には立命館、龍谷、東海の3大学と協定を結んだ。これらの大学とは、県内企業のインターンシップの受け入れ情報の提供のほか、県内企業が参加する就職説明会やUターン就職セミナーを開催する予定にしている。今後も協定を結ぶ大学を増やしていく。

私の意見

この質問の後、京都女子、神奈川の2大学との協定も締結されました。石川県の発展には、若い人たちの力がどうしても必要です。両親や親戚、友人といった人のつながりを大切に、県外で学んでいる学生が一人でも多く石川県に戻ってほしいと思います。

人生で一番長い日
○...1期の横山氏は、最終10人目の出席者として、朝から緊張が続き、たのたの(22日)は夏室で日照時間が一番長い日。今日は私にとって人生で一番長い日だったと切り出した。質問は短く、答弁は長く、と臨んだものの、持ち時間が

人生で一番長い日を終えて~人口減少問題に決意新た~

県議会議員として初めての質問に立った6月23日は、私にとって「人生で一番長い日」となりました。委員会での質問は、県政を担う議員としての重責を実感する場であり、政治家として第一歩を踏み出したころの初心を思い起こした次第です。この日、最後に答弁いただいたのは全国知事会副会長を務める谷本正憲知事です。人口減少問題について谷本知事は「国と地方が一体となって取り組むべき難しい問題だ。地方が自主的、主体的に行動できるように国がバックアップするよう、全国知事会を通じて国に働きかけていきたい」との答弁をいただきました。私も谷本知事とともに、この問題に立ち向かっていく所存です。



能美市根上中央児童館を視察

子育て環境のさらなる充実に努めます

石川県議会での質問内容は右記媒体でも紹介されています。

濁水「県中心に対応を」
手取川 委員から不満や質問
北陸中日新聞(6月9日)
手取川の濁水問題に、委員手取川が「県中心に対応を」として、八日の県議会などで、濁水問題が全県に波及するのを防ぐため、県が中心となって対応を求めた。濁水問題は、県が中心となって対応を求めた。濁水問題は、県が中心となって対応を求めた。濁水問題は、県が中心となって対応を求めた。

少子化対策の成果を示せ
横山隆也 議員
北陸新聞(6月24日)
少子化対策の成果を示せ。横山隆也議員は、少子化対策の成果を示せと訴えた。横山隆也議員は、少子化対策の成果を示せと訴えた。横山隆也議員は、少子化対策の成果を示せと訴えた。



厚生文教委員会で県立小松工業高等学校を視察



鳥越白寿会若返り運動会で地域の方々と親ほくを深めました